

笠取・かつぱらんどトピックス

藍建て【ゆり】12月3日(月)

昨年より種から大切に大切に育ててきた藍。すくもを作り、次は待ちに待った藍建ての日がやってきました。藍建てとは、すくもを染色できる状態にし、藍液を作る事を言います。藍建ての方法を直々に教えに、福知山藍同好会より、花城さんご夫妻が来園されました。一つ一つの工程を丁寧にを見せてくださり、子どもたちは終始真剣な眼差しで見つめていました。



今まで取り組んできた定植や刈り取り・すくも作り等の写真やドキュメンテーションを、花城さんや染めの関係者等、見学の方にご覧いただき、子どもたちが説明する姿がありました。藍建てが出来、試しに染めた布が藍色に変わると、子どもたちからも歓声があがります。「酸化」という科学変化を目の前で見た感動です。最後には花城さんの手から「染めパワーもらおう!!」と、交流を楽しむ姿も見られていました。



笠取小学校交流会【ゆり】12月7日(金)

三室戸こども園のゆりぐみさんと一緒に、笠取小学校へ行きました。合奏を聴かせていただき、小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんと校庭で遊ばせてもらいました。小学校への期待感も高まった子どもたちでした。



藍染め【ゆり】

藍液の真ん中にふわふわと浮いている泡の事を『藍の華』と呼びます。華が咲いたら藍染めが出来る事を、花城さんより教えてもらいました。毎日攪拌する中で「藍の華が咲いた!」と気付いた子どもたち。早速、初染めを行いました。深い緑がかかった藍液の中に布を浸し、引き上げて空気や水に触れるとパツと藍色へと変化していきます。その不思議さを味わい「すごい! 藍の色になった!」と喜ぶ姿がありました。「もっと染めたい!」との声から、園長先生より T シャツをプレゼントしてもらいました。ビー玉等を使って絞り模様を付け、順番に染めてオリジナル T シャツを作っています。出来上がりが楽しみです。



冬至

冬至とは『一年の内で最も昼が短く夜が長い日』。身体を清め、無病息災を願うという昔ながらの日本文化を味わいました。笠取でゆりぐみさんが取ってきてくれた柚子を使って、ぽかぽかの足湯を体験。寒い日に温かい柚子湯に浸かって、心も身体も心地よい気持ちになりました。

